

開講年度	2022	開講学期	後学期	教育学研究科(教職大学院の課程)			
時間割番号	22P03	科目名	教員研修プログラム開発演習 [Development of Teacher Education Program]			単位数	2
担当教員	高橋 葉子, 露口 健司, 山本 浅幸 [TAKAHASHI Yoko, TSUYUGUCHI Kenji, YAMAMOTO Asayuki]						
科目区分	専門教育科目(大学院)		対象学生	対象年次		1～	
<b>授業題目</b>							
教員研修プログラム開発 (Teacher training program development)							
<b>授業のキーワード</b>							
業務改善研修, コンプライアンス研修, 地域連携研修, 若年層人材育成研修 (Business improvement training, compliance training, regional alliance training, young teachers training)							
<b>授業の目的</b>							
今日, スクールリーダーとして, 現代的ニーズを踏まえた行政研修・校内研修を開発する力量が強くとめられている。教員のニーズを捉えた新たな研修を生み出し, 効果的に実践する能力の基礎を培う。							
<b>授業の到達目標</b>							
スクールリーダーとしての自覚のもと, 今日の学校を対象とする新たな研修(行政研修・校内研修)を開発するための知識を習得するとともに, 実際に開発し提案することができる。							
<b>共通教育の理念・教育方針に関わる項目</b>							
<p>&lt;思考・判断・表現&gt; 3.学校教育にかかわる現代的諸課題について, 幅広く専門的な知見のもとに, その対応方策を適切に考え, 高度な実践力をもって学校改善・授業改善等に取り組むことができる。</p> <p>&lt;関心・意欲・態度&gt; 4.学校に対する社会のニーズと自己の学習課題・研究課題を明確に意識し, 実践を省察しつつ先導的に学習し研究する高度な教育実践力をもった専門的職業人として, 自己の使命と責任を自覚し, 自主的に社会に貢献しようとする。</p>							
<b>愛媛大学学生として期待される能力(愛大学生コンピテンシー)に関わる項目</b>							
客観的根拠に基づき判断し, 解決策を提示できる 様々な状況に応じて適切な対話・討論ができる 目的達成のために多様な人と協働できる 自らの個性や適性を活かして行動できる 社会的関係の中で自分の行動を調整できる							
<b>授業の概要</b>							
四国内の教職大学院との連携による双方向型遠隔授業と集合対面型授業を併用した科目である。第1回から第9回は, 双方向型遠隔授業として, 新たな行政研修・校内研修として注文されている業務改善研修, コンプライアンス研修, 地域連携推進研修, 若年層教員を対象とした人材育成研修をテーマとして, 実地指導講師の講義とその次回の演習をワンセットとした学習活動を実施する。第10回から第15回は, 各教職大学院の学生が1カ所ご集合し, ワークショップ形式で研修プログラム開発にあたりるとともに, 作成したプログラムを発表する。							
「この科目は対面授業で開講する予定です(感染等の状況によっては実施形態を変更する場合があります)。」							
<b>授業スケジュール</b>							
第1回: ガイダンス 第2回: 業務改善研修の事例分析 第3回: 業務改善研修プログラム開発演習 第4回: コンプライアンス研修の事例分析 第5回: コンプライアンス研修プログラム開発演習 第6回: 地域連携推進研修の事例分析 第7回: 地域連携推進研修プログラム開発演習 第8回: 若年層教員を対象とする人材育成研修の事例分析 第9回: 若年層教員を対象とする人材育成研修プログラム開発演習 第10回: 研修プログラム開発: グループ編成とテーマ選択 第11回: 研修プログラム開発: ワークショップ実践							

- 第12回: 研修プログラム開発: 報告内容のまとめ
- 第13回: 研修プログラム報告: プレゼンテーション練習
- 第14回: 研修プログラム報告: 前半グループ発表・省察
- 第15回: 研修プログラム報告: 後半グループ発表・省察

- 1.Guidance
- 2.Case analysis of business improvement training
- 3.Business improvement training program development practice
- 4.Case study of compliance training
- 5.Compliance Training Program Development Exercise
- 6.Case analysis of regional cooperation promotion training
- 7.Exercise for regional cooperation promotion training program development
- 8.Case analysis of human resource development training for young teachers
- 9.Human resources development training program development exercise for young teachers
- 10.Training program development: Group formation and theme selection
- 11.Training program development: Workshop practice
- 12.Training program development: Summary of report contents
- 13.Training program report: Presentation practice
- 14.Training program report: Group presentation and reflection in the first half
- 15.Training program report: Group presentation and reflection in the latter half

**授業時間外学習にかかわる情報**

事前の課題を、授業開始1ヶ月前提示する。

**成績評価方法**

レポート70%, 発表内容30%。出席が3分の2に満たない場合には成績判定の対象とならない。(単位修得は不可)。

**受講条件**

**受講のルール**

**教科書 (購入の必要のある図書)**

「-」

**参考書 (購入する必要はないが、推奨する図書)**

組織開発の探究 / 中原淳他: ダイヤモンド社, 2018

**教科書・参考書に関する補足情報**

「-」

<b>オフィスアワー</b>	水曜日 3 限
<b>連絡先</b>	教育学部本館 2 階
<b>参照ホームページ</b>	
<b>その他</b>	
<b>実務経験</b>	本授業は「実務経験のある教員による授業科目」である。 教育委員会・校長経験